

（4）過去の地震活動

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（図4-1の領域c）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。

1951年10月22日06時34分にM7.5の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生するなど、同日中にM7.0以上の地震が3回発生した。これらの地震により、死者68人、負傷者856人などの被害が生じた。また、1951年11月25日にM7.8の地震が発生し、死者17人、負傷者91人などの被害があった。

1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった。また、1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害があった。

（被害はいずれも宇津の「世界の被害地震の表」による）

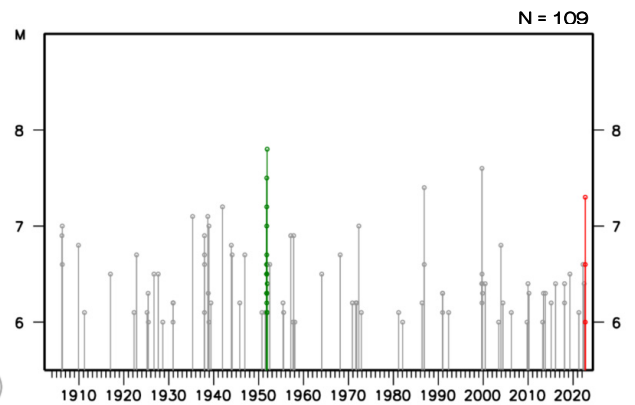
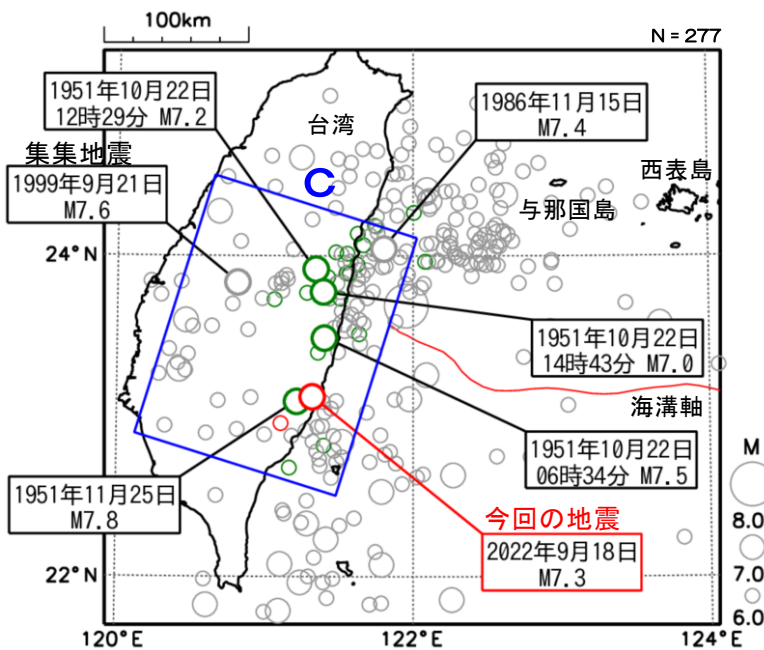


図4-2 図4-1の領域c内のM-T図

図4-1 震央分布図

（1904年1月1日～2022年9月30日、深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ ）  
 1951年10月～12月までの地震を緑で表示、2022年9月の地震を赤く表示。2018年までの震源要素はISC-GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。